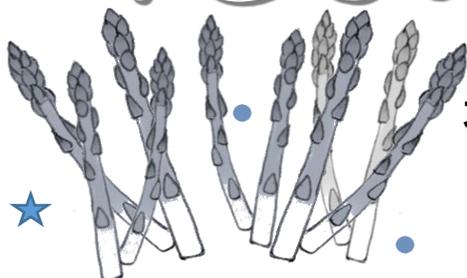


みどりのアスパラガス



北広島市しょうがい児者を持つ親の会
発行責任者 加藤裕子

賛助会員ご入会ありがとうございました

【団体会員様】

(順不同・敬称は省略させていただきます)

【個人様】

(北海道札幌養護学校共栄分校)

鬼

(北海道白樺高等養護学校)

「子どもたちのアート・カレンダー2018」制作 子どもたちのアート大募集!

- ① 応募対象者:知的・発達障がいご本人(育成会並びに関係事業所、教育機関所属) ② 募集作品:平面作品(絵画、イラスト、版画など) ③ 締切:8月31日 ④ 作品選抜:広報・企画専門委員会にて審査し作品を選抜します。 ⑤ 作品公表:応募作品及びカレンダー選抜作品は、9月の全国大会会場(ロイトン札幌3階ロビー)に展示公表します。 ⑥ 作品の応募:別添応募用紙(知的部長 高木)に必要事項を記載し作品を下記にお送りください。
北海道手をつなぐ育成会(担当 白戸・種田)〒060-0002 札幌市中央区北2条西7丁目かでの2・7

北広島市障がい者自立支援協議会学習会

最近耳にする 大人の発達障がいとは

参加費無料です

～本人や周りの方たちの工夫によって、発揮される力～

〈内容〉★ここリカ・プロダクションによる発達障がい者の実体験に基づく演劇と解説

★北海道発達障害者支援センターあおいそら 片山智博氏による発達障がいの方との関わり方

〈日時・場所〉8月22日(火)14:00～16:00 北広島市芸術文化ホール 活動室1・2(終了後、個別相談もあります)

〈申込み〉8月17日(木)までに市役所福祉課へ TEL011-372-3311(内線2153) FAX011-398-4312

〈主催〉北広島市障がい者自立支援協議会 〈共催〉北広島市



北海道自閉症協会創立50周年記念事業



つなぐ

平成 29 年 7 月 9 日(日)、北海道自閉症協会では「過去から現在そして未来」を「つなぐ」「教育・福祉・医療」を「つなぐ」をテーマに記念講演とシンポジウムが開催されました。

< 第1部 記念講演 > 講師 加藤潔 氏

自閉症研究の歴史としては「冷蔵庫マザー理論」と過去には親の冷たい育て方が原因などと言われていた事。しかし、1960年代には聴覚入力より視覚入力が優位でありその後先天性の脳機能の働きに原因があるという事がわかり、その後も様々な研究が発表されているとのことです。又、支援する側として気持ちが前向きになるようなお話をお聞きしたので一部ご紹介します。なるほど！と思ったのは、“感情はなくさない ふるまいを増やす”です。感情自体をコントロールするのではなく、イライラは人のいないところで吐き出して良い。ということで、本人のストレス発散も大切だと感じました。

- ・親の変わりはいない
- ・親の元気が子どもの元気
- ・自分の子どもに期待しないでとことん信じる
- ・投げ出さない 抱え込まない
- ・たまには休んでいい 長期ランナーには休憩も必要。

< 第2部 シンポジウム >

医療の立場から～自閉症の脳の特性と早期診断、自閉症の根拠に基づいた1歳～3 歳までの超早期療育の大切さを詳しく丁寧にお話されました。

福祉の立場から～自閉症の人たちは適切な支援がないと自分から必要な事を身に着けていくのは困難である事。現状と課題解決に向けて本人のニーズを的確に把握し、本人を主体とした根拠ある支援が重要。又、視覚支援の大切さもお話されました。

教育からみる「つなぐ」として～10年後、20年後の子どもがどんな生活をしているか、将来像をイメージすることが必要。又、関わる人が誰でもわかる、複雑になり過ぎない指導を現在の課題としてお話されました。

保護者代表～親支援の大切さ、信頼できる情報と見通しが必要である事と、ご自身の経験もお話をされました。

自閉症協会会長は、親の会のあゆみと思いを語られました。お話を聞いて、親として様々な情報や複雑な制度を理解出来るように、これからも学び続けたいと思いました。

★ 記念事業に参加して思った事は、これまで沢山の方に出会い親も子ども支えられてきたことに、今更ながらに感謝致しました。これからはもっと、人とのつながりを大切にしていきたいと思えます。 岡本

7 月 8 日に、各分会が年に一度集まります定期総会がありました。その後に明日開催する記念事業の準備を各分会のみなさんと行いました。年に一度顔を合わすだけの各地の役員の皆さんたちですが、全国大会での事業を通じ、皆さん気心が知れているので、順調に、且つスピーディーに準備を完了しました。当日は裏方のお手伝いをさせていただきます。講演は全て聞くことができませんでしたが、合間に聞かせていただいた久しぶりの加藤語録に、また元気をいただきました。

夜の懇親会へも仲上さんと共に参加しました。各分会 PR の時間は、仲上さんが立派にアピールしていただけて、とても頼もしかったです。北海道自閉症協会の 50 周年の長きに渡っての活動が、これからどう向かっていくのかは、今の個々の会員である私たちが受け取った課題です。そんなことをまた改めて考えた一日でした。 斉藤 圭美



7/9、北海道民活動センター かでの2,7にて「過去から現在そして未来」を「つなぐ」、「教育・福祉・医療」を「つなぐ」をテーマに記念講演とシンポジウムが行われました。前日から北海道自閉症協会定期総会があり、当日は裏方で参加しました。そこで道内各地域の分会の方々から、各地域の活動の取り組みを伺いました。つつい日常に追われて大変そうなことは余り出来ないと内向きになってしまっていますが、直接皆さんの話を聞いてまだまだ出来る事はあるんだと前向きに思えました。インターネット等で沢山情報は得られますが、直接人のお話を聞くのとでは、感じ方が違うように思います。今回の行事で人と人のつながりの大切さを感じました。 仲上



北海道自閉症協会創立50周年記念事業に出席した際に、講師の加藤潔氏等の本を購入いたしました。本の名前にある「ステキを伸ばす」という言葉。なんて魅力的なんでしょう。

皆さんで回して読んでもらえるように、貸し出し票も作ってくださったので、青空会などで確認していただくか、役員までお問い合わせ下さい。



**家庭でできる
発達障害の子が自立するために身につけておきたい大切なこと**

著者 平岩幹夫
子供の頃から適切なコミュニケーションや社会生活習慣のトレーニングの必要性を具体的に書いてあります。



**性と生の支援
性の悩みや とまどいに向き合う**

編者 伊藤修毅
著者 ”人間と性”教育研究協議会障害児・者サークル



発達が気になる子の「ステキ」を伸ばすかわり方

著者 加藤潔
気になる分野を7つに大別して整理されています。親業に悩んだとき、子育てのヒントを拾ってみては。加藤先生が、研修会等でお話されたことをまとめた1冊です。家庭や地域でできるポジティブ発想。



発達が気になる子のステキを伸ばす「ことばがけ」

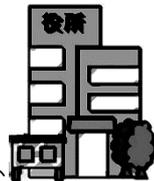
著者 加藤潔
元気にすることばがけ・ことばを引き出すことばがけ等、主に支援に携わっておられる方々へ向けた目線で書かれたところが多いですが、保護者にもヒントになるところが沢山あります

新庁舎に行ってきました

6月の青空会の後、11名で市役所新庁舎を見学させていただきました。他市の市役所に入ることがないので、今どきの市役所と言うものを知らず、中に入って立派なものにはびっくりしました。広くて、明るくて、すごいという言葉は何度言ったことか。見通しが良いので、職員さんもこちらに気が付いてくれて、今まで通りに感じが良く、各窓口は、区切られて隣の人を気にする事もなく話が出来そうです。市長室や議場も立派でした。

5階は、さらに広い展望ロビー、市民ギャラリー、ISHIYACAFEがあり、ゆっくり出来そうな感じでした。

近くを電車が通るのが見えるので、好きな人には、嬉しいポイントになるかもしれませんね。見学する前に、昔の庁舎などの写真を見せてもらいましたが、北広島で生まれ育った私にとっては、とても懐かしく、密かに感動していました。今回は案内をしていただき、どうもありがとうございました。中川民恵



6月17日のレクリエーションに6名で参加させていただきました。行き先は、札幌市青少年科学館。息子は、皆さんに会えるのをカレンダーを見ながら楽しみにしていました。バスから降りてきた彼は、最高の笑顔でした。本当にありがとうございました。中川民恵

中央公民館利用者説明会

●使用申請について

月初め速やかに使用料を持って申請してください(受付開始日の7日後からWEBでの受付が開始されます)

すべての団体が、講堂が3か月前、講堂以外は1か月前からです。

使用許可を受けた後、使用を中止する場合は、速やかに使用取消申出・還付申請書を提出してください。使用日の15日前の申請であれば、使用料の1/2の額の還付申請ができます。

使用の変更は、可能な日程でできます。

電話による予約の変更及び、当日の予約の変更はできません。

●コピー

A4・B4モノクロ 10円・カラー 30円

A3モノクロ 20円・カラー 60円

●紛失物の取扱い

貴重品等は、拾得後1週間以内に交番へ。それ以外は、中央公民館に5か月保管。(詳しくは、岡本まで)

◆活動報告◆

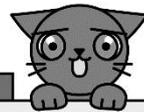
- 6月07日 保健福祉計画策定委員会（加藤）
- 6月08日 青空会・市役所新庁舎見学（11名参加）
- 6月10日 札幌養護学校共栄分校スポーツフェスタ（加藤）
- 6月23日 北ひろしま福祉のつどい企画委員会（中川）
- 6月15日 北広島市社会福祉協議会理事会（中川）
療育キャンプ実行委員会（仲上・高橋）
- 6月17日 KLUC レクリエーション（青少年科学館）
（6名参加）
- 6月23日 自立支援協議会子ども部会（加藤）
- 6月28日 中央公民館利用者説明会及び第37回公民館
まつり説明会（井上・大矢）
- 6月29日 療育キャンプ実行委員会（仲上・高橋）
- 7月05日 道立特別支援学校高等部の在り方に関する説明
会（仲上）
- 7月06日 療育キャンプ実行委員会（仲上・高橋）
- 7月08日 北海道自閉症協会総会（斉藤・仲上）
- 7月09日 北海道自閉症協会創立50周年記念事業
（加藤・斉藤・岡本・仲上）
- 7月10日 自立支援協議会子ども部会・事業者交流会
（加藤）
- 7月13日 役員会
- 7月15～16 療育キャンプ
- 7月20日 療育キャンプ実行委員会（仲上・高橋）
- 7月25日 公民館まつり実行委員会（井上・大矢）
- 7月28日 北ひろしま福祉会グリーンフェスティバル
説明会（千葉）
- 8月03日 育成会全国大会実行委員会（加藤）

お願い

8月26日の北ひろしま福祉会のグリーンフェスティバル、10月1日の公民館まつりの出店に向けて、準備です。ご家庭にある贈答品や綺麗だけど、必要がなくなった物、本、ゲーム、手作り品などがありましたら、よろしくお願ひします。ご協力いただける方は、担当までご連絡をいただくと助かります。



担当 千葉
TEL・FAX 373-2234

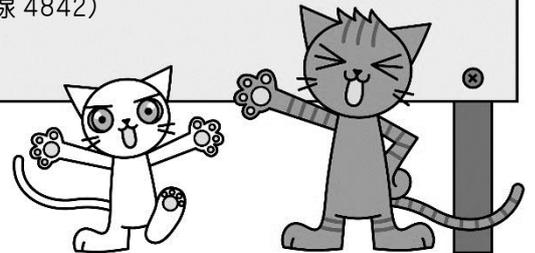


フレンドリーセンター事業

農業体験教室

バスで市内のブルーベリー農園と、恵庭の牧場へ行きます。

＜内容＞ブルーベリー狩りや牛の乳搾り体験
ブルーベリーや牛乳を使ったアイスクリーム
とピザ作り
＜日時＞8月20日(日) 8:45～14:00
＜集合場所＞中央公民館
＜参加料＞500円 ＜体験料＞1500円
＜持ち物＞飲み物・タオル
＜定員＞先着15組
＜申込み＞8月14日までに市教委社会教育課
(内線4842)



ディスレクシアの 理解と応援セミナー

未来の自分をあきらめない in 北広島 2017 のご案内がありました。発達につまずきのある子ども達の中でも特に、学習面においてつまずきのある子ども達の現状を理解し、応援するセミナーです。

＜と き＞8月23日(水)

開場 PM6:30・開演 PM7:00～PM9:00

＜ところ＞北広島市役所新庁舎 多目的室3・4

＜講師＞山下 桂世子 氏

＜内容＞『英語の読み書き学習を変える』

シンセティック・フォニックスの世界

＜参加費＞1000円(資料代込み)

＜申込み・お問い合わせ＞TEL・080-3236-8502

もったいないDX(ディスレクシア)副代表 勝部

咲子(9時～17時) MAIL・bemama@tasogare.jp



※この会報は会の趣旨に賛同下さる方々に私たちの活動を広く紹介する目的で発行しています。他の目的に使用しない様、また、破棄する場合は取り扱いにご注意下さる様お願い致します。

◆会報担当 斉藤 中川◆